

ぼくの井戸

ぼくの家には井戸がありません。高塚山から流れている水です。その水はとてもおいしいです。ですが水道水はあまりおいしくないと 생각합니다。世界を見つめると水がなくて困っている国や子どもの仕事として水を運ぶ国もあります。水を運ばずに飲めることをうれしうと思います。ぼくの家では年に一回井戸のそうじをします。まずはポンプで水をぬいて下にたまっていく土をスコップでとります。次にまわりの石などをブラシできれいにみぎまします。その後ホースでよごれを流します。そして最後に井戸に水がたまるのを待ちます。井戸水がたまるまでは水道水を飲むのですが、やっぱり井戸水との味はちがうなあといつも思っています。ぼくは井戸水を飲んでいます。世界を見てみるとそのままだけで飲む国はオセアニアでは44%、サハラ以南のアフリカでは32%で

山添村立山添中学校 一年

中南 瑠唯

す。そして水道水を飲める国は15カ国だけです。なので水道水を飲めるのはありがたいと思います。ぼくは水をいっぱい使っているのでもっと大切に水を使っていこうと思います。朝おきて水を飲んで、トイレを流すときに使ったり、お風呂に入るときに使ったりするのですごく大切に水を使おうと思います。この水を守るにはどうすればいいのだろうと考えました。ぼくは山を守れば水も守れると思います。家庭で出来る節水の方法はお風呂と洗濯の水の節水についてです。シャワーを使うときはこまめに開け閉めをしましょう。1分間出しっぱなしにすると約12Lの水が流れてしまいます。お風呂に入るときはお湯の沸かしすぎ、ためすぎに注意しましょう。お湯の温度を下げるのに水を使うからです。一度お湯が冷めたら、なおさなければならな

いので、2人以上が入浴する場合は、できるだけ続けて入りましょう。追い炊き機能の活用も有効です。おふろの残り湯はおふろのそら、洗いまししょう。洗濯、洗車、植物への散水に再利用しまししょう。洗濯への再利用は、水道料金の節約にもなりますし、水道水より温度が高いので、洗剤の溶けもよくなります。洗濯物はある程度ためて、洗濯の8割をめやすに、まとめ洗いをしまししょう。洗剤は適量がいいです。洗剤が多すぎると、泡だらけになって、すすぎの水がたぐさん必要になります。節水型の洗濯を使いましょう。4〜30リットルの節水効果があるようです。トイレでは大小レバーを使い分けましょう。小レバーは大レバーに比べて約2リットルの節水になります。2度流しはやめましょう。食器洗いするとき蛇口はこまめに開け閉めしましょう。流しっぱなしにすると、1分間で約12リットルの水が出ます。食器の油分などは紙などでふいてから、洗いまししょう。流し洗いはやめ、ため洗いやつけおき洗いで1日約80リットルも節水できます。食器を洗うときも、流し洗いではなくため洗いにしまししょう。1日約44リットル

ル節水できる。野菜を洗った水やお米のとき汁などは植物への散水などに再利用しまししょう。植物などへの水やりは植物や庭への散水や洗車のときは、ホースの蛇口をこまめに開け閉めしまししょう。バケツやジョウロを使うと、水の量を少なくすることができず。歯をみがくときは、使う水をコップにくみましまししょう。30秒間水を出しっぱなしにすると約6リットルの水を使いますが、コップにくみみみがくと、約0.6リットル程度の水ですみません。ぼくは当たり前のように水を使っていたけれど、調べてみるととてもきちょうなことで分かります。ぼくは幸せだと思いました。